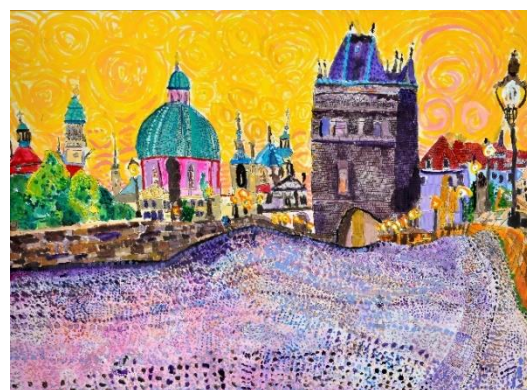


だい じ ひろしまけんしょうがいしゃ 第5次広島県障害者プラン

れいわ 令和6 (2024) ねんど 年度～れいわ 令和11 (2029) ねんど 年度

ばん
〔わかりやすい版〕



れいわ 令和6 (2024) ねん がつ 年3月



ひろしまけん
広島県

ひょうし
[表紙のアート] ～あいサポートアート展 入 賞 作品～
てん にゆうしょうさくひん

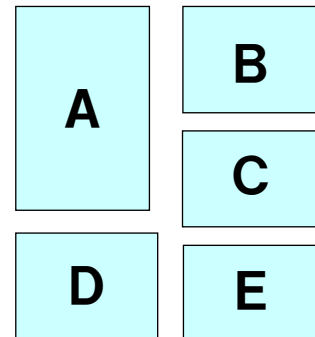
A：勢川 真健 さん 『平和公園の中の原爆ドーム』
れいわ ねんど ひろしまけんち じしょう
[令和4（2022）年度 広島県知事 賞]

B：池田 克彦 さん 『フェリーの楽しい旅行』
れいわ ねんど きんしょう
[令和5（2023）年度 金 賞]

C：森田 慧 さん 『夕ぐれのヨーロッパの街』
れいわ ねんど ゆう しんさいんとくべつしょう まち
[令和5（2023）年度 審査員特別 賞]

D：波田 英子 さん 『欠け満ちる輪廻』
れいわ ねんど か み りんね ひろしまけんち じしょう
[令和5（2023）年度 広島県知事 賞]

E：小迫田 葉さん 『おなががすいた』
れいわ ねんど きんしょう
[令和4（2022）年度 金 賞]



第1章 計画の考え方

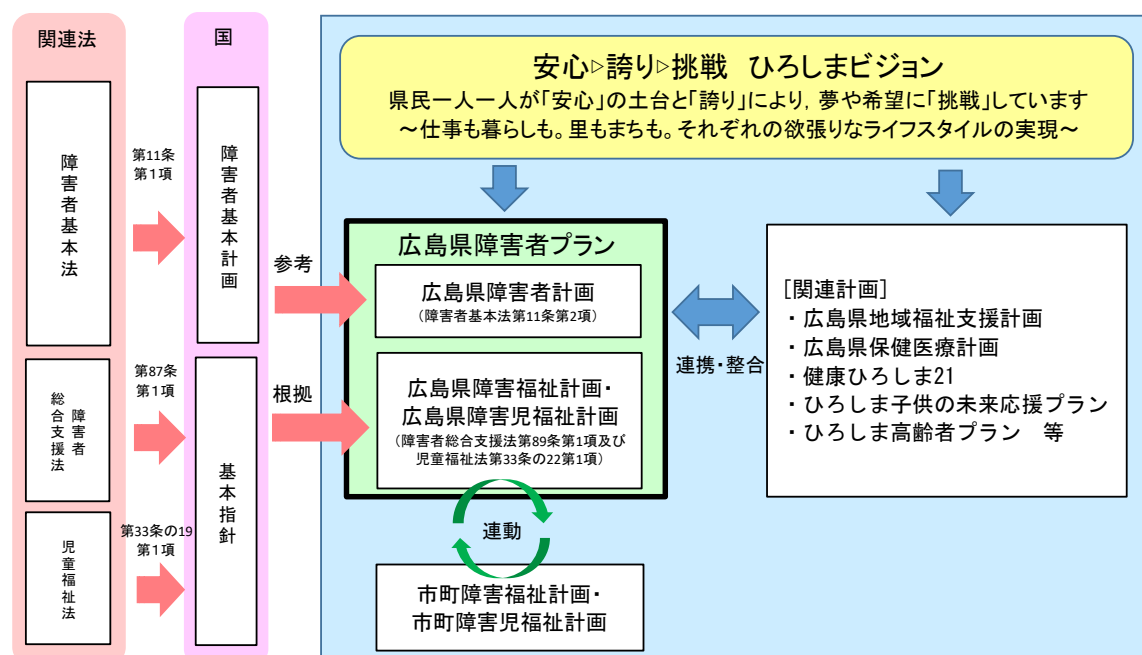
1 計画について

この計画は障害のある人や障害のある子ども、その家族や支える人たち、また、障害のない人も含め、広島県内で安心して、地域で暮らし、支え合えあえるように、取り組むことを整理したものです。

今回、「第4次広島県障害者プラン」と「第6期広島県障害福祉計画・第2期広島県障害児福祉計画」が終わりを迎えるため、これらの計画を1つにまとめて、次の計画となる「第5次広島県障害者プラン」を作ります。

2 計画の位置付け

この計画は、「障害者基本法」、「障害者総合支援法」、「児童福祉法」をもとに作成しています。



3 計画期間

計画期間は、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間とします。

4 計画の考え方とめざす姿

【基本理念】

障害のある人もない人も、お互いに個性を大切にしながら、一緒に暮らす社会になっています。

【めざす姿】

① いろいろな心やからだの特性、考え方を持つすべての人たちの権利が守られ、お互いに理解を深めようとコミュニケーションをとることで、認め合い、みんなでつくっていく社会になっています。

② 障害のある人が、学ぶことや働くこと、スポーツ、絵の発表会などのいろいろな機会を通じて、自分の力を生かし、よろこびを感じて暮らせる社会になっています。

③ 障害の原因となる病気を防いだり、早く見つけたりする検査を受けることができ、専門的な治療を自分が住んでいる地域で安心して受けられるようになっています。

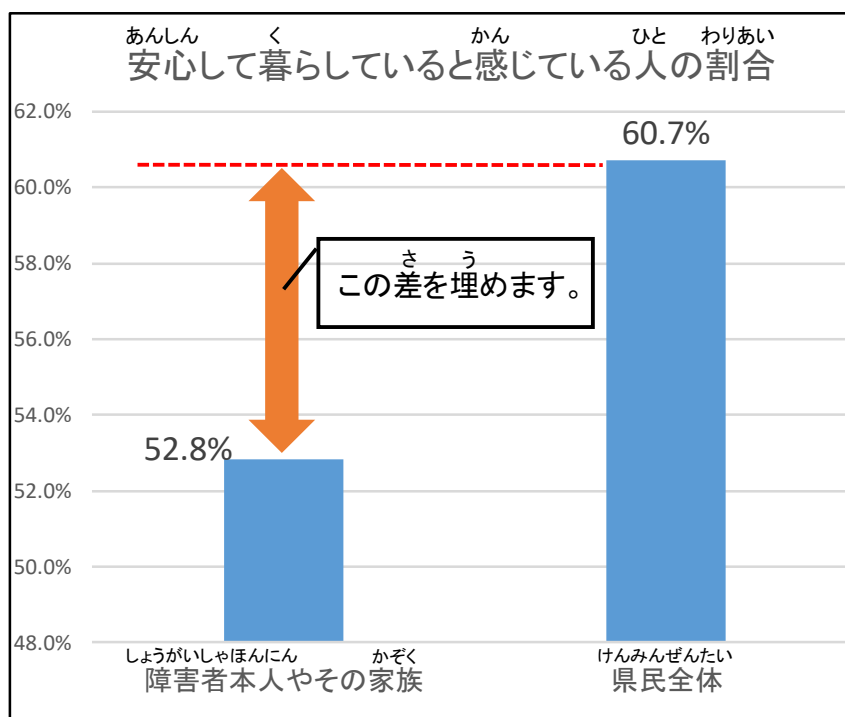
④ 障害のある人を地域のみんなで見守ることができ、また、障害の特性や自分にあったサービスなどが使えて、自分で選ぶ場所で安心して暮らしています。

⑤ みんながいろいろな場面で、生活への不安を感じることなく、安全に暮らせる社会になっています。

そうかつもくひょう
【総括目標】

障害のある人とその家族が安心して暮らすことができるか確かめるための目標を設定します。

もくひょう ないよう 目標の内容	げんざい すうじ 現在の数字 れいわ ねん がつ (令和5年9月)	もくひょう 目標 れいわ ねんど (令和11年度)
しょうがい ひと かぞく 障害のある人やその家族の うち あんしん く 内、安心して暮らしていると かん ひと わりあい 感じている人の割合	52.8%	けんみんぜんたい うち あんしん 県民全体の内、安心して 暮らしていると かん ひと わりあい 感じている人の割合 おな あたい と同じ値



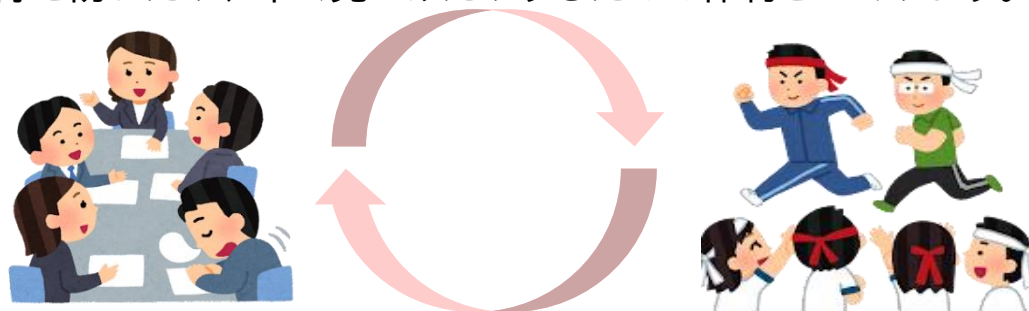
第2章 広島県の取り組むこと

1 障害への理解を広めること、権利を守ること

【この分野のめざす姿】

いろいろな心やからだの特性、考え方を持つすべての人たちの権利が守られ、お互いに理解を深めようとコミュニケーションをとることで、認め合い、みんなでつくっていく社会になっています。

- 障害への正しい知識を子どもの頃から身につけられるように、障害のある人となない人が小さいときから一緒に学ぶ場をつくっていきます。
- 障害のことや障害のある人が困っていることを学べる場をつくり、必要な手助けをすることができる人「あいサポーター」を増やします。
- 障害のある人となない人の考え方の違いをできるだけ無くして、みんながいっしょに考えて、いっしょにつくる社会を実現します。
- 市町や団体との協力や、研修を通じて、障害のある人への虐待を防いだり、早く見つけたりするための体制をつくります。



2 ^{しゃかい}社会への^{さんか}参加、^{じぶん}自分らしく^い生きること

【この分野のめざす姿^{ぶんや} ^{すがた}】

^{しょうがい}障害のある人が、^{ひと}学ぶことや^{まな}働くこと、^{はたら}スポーツ、^え絵の
^{はっぴようかい}発表会などのいろいろな^{きかい}機会を通じて、^{じぶん}自分の^{ちから}力を^い生かし、
^{かん}よろこびを感じて^く暮らせる^{しゃかい}社会になっています。

- ^{べんきょう}勉強をするための^{せいかつかんきょう}生活環境や^{ささ}支える人を必要とする子どもたちが
^{じぶん}自分に^あ合った^ば場で^{まな}学べるようにします。
- ^{かいしゃ}会社の中で^{なか}障害のある人の^{しょうがい}相談や、^{ひと}仕事の^{そうだん}しやすさを^{しごと}考えたりする
^{しゅうろうしえん}「就労支援メッセンジャー」を増やしたり、^{かいしゃ}会社に向けて^む障害の
^{しょうがい}ことを^し知ってもらう^{とりくみ}取組を進めたりすることで、^{しょうがい}障害のある人が^{ひと}働
^{かんきょう}きやすい^{はたら}環境づくりや^{ばしょ}働きやすい^ふ場所を増やしていきます。
- いろいろな^{しょうがい}障害のある人が必要としている^{ひと}情報を^{ひつよう}自由に^{じょうほう}得られる
^{じゅう}ように、「^え広島県^{しょうがい}障害者 I Tサポートセンター」、^{けんりつしかくしょうがいしゃ}「県立視覚障害者
^{じょうほう}情報センター」、^{ひろしまけんちょうかくしょうがいしゃ}「広島県聴覚障害者センター」などで^{てだす}手助けをし
ます。
- ^{しょうがい}障害のある人が、^{ひと}スポーツ大会や^{たいかい}絵などの^え発表会を通じ、^{はっぴようかい}自分の
^{こせい}個性をのばし、^{たが}お互いを^{みと}認めあう^{しゃかい}社会になるように^と取り組みます。



3 保健、医療、健康のこと

【この分野のめざす姿】

障害の原因となる病気を防いだり、早く見つけたりする
検査を受けることができ、専門的な治療を自分が住んで
いる地域で安心して受けられるようになっています。

- すこやかに生活するため、病気を早く見つけたり、防いだりする
身体の検査を自分から進んで行うように取り組みます。
- ひきこもりやこころの悩みなどについて、相談しやすくなるように
します。
- こころの悩みから見えないものが見えたりする人、自分の気持ちを
上手く伝えることが苦手な人、治すことが難しい病気の人など、さま
ざまな病気を抱えた人が必要な医療を受けられるようにします。
- 人の話がなかなか理解しにくい子ども、いつも息をする機械を付け
ている子ども、耳が聴こえづらい子どもなど、また、その家族を支え
ることができるよう、関係しているみんなで協力します。



4 ^{ちいき}地域で暮らすこと

【この分野のめざす姿】

^{しょうがい}障害のある人 ^{ひと}を ^{ちいき}地域のみんなで ^{みまも}見守ることができ、また、
^{しょうがい}障害の特性や自分 ^{とくせい}にあったサービス ^{じぶん}などが使えて、自分 ^{つか}で選 ^{じぶん}えら
び場所 ^{ばしょ}で安心 ^{あんしん}して暮 ^くらしています。

- ^{けんない}県内のどこにいても、必要 ^{ひつよう}としている ^{しょうがいふくし}障害福祉サービス ^うを受けられるよう、事業者 ^{じぎょうしゃ}に働 ^{はたら}きかけていきます。
- ^{こうれい}高齢の人 ^{ひと}と ^{しょうがい}障害のある人 ^{ひと}が ^{りよう}いっしょに利用できる「共生型サービス」 ^{きょうせいがた}を増やす取組 ^{とりくみ}をおこなっていきます。
- ^{しょうがいふくし}障害福祉サービス事業所 ^{じぎょうしょ}などで働 ^{はたら}く人の環境 ^{かんきよう}を良くしたり、
^{しょうがい}障害のある人 ^{ひと}を支えていく方法 ^{ささ}を学 ^{まな}ぶ研修 ^{けんしゅう}や、事業所 ^{じぎょうしょ}で働 ^{はたら}くための
^{しかく}資格をとる研修 ^{けんしゅう}を開催 ^{かいさい}し、^{しょうがい}障害のある人 ^{ひと}を支えていく人 ^{ひと}たちの数 ^{かず}を
^{かくほ}確保 ^{かくほ}します。
- ^{きかんそうだんしえん}基幹相談支援センター（^{しょうがい}障害に関わる ^{かか}さまざまな困 ^{こま}りごとの相談 ^{そうだん}を
^う受けるところ）や ^{ちいきせいかつしえんきよてんとう}地域生活支援拠点等（^{おや}親が亡 ^なくなり ^{ひとり}一人になった
^{しょうがい}障害のある人 ^{ひと}などを ^{ちいき}地域で ^{ささ}支えるためにサポート ^{サポート}をするところ）を
^{かくしまち}各市町 ^{かくしまち}につくります。



5 ^{あんぜん}安全に暮らすこと

【この分野のめざす姿】

みんながいろいろな^{ばめん}場面で、生活への^{せいかつ}不安を感じることなく、^{あんぜん}安全に暮らせる^{しゃかい}社会になっています。

- ^{たても}建物、^{どうろ}道路、バスや^{でんしゃ}電車などが、みんなが利用しやすくなるようにしていきます。
- ^{さいがい}災害のときに、^{てだす}手助けが必要な人が逃げることを^{てつだ}手伝うための計画をつくったり、逃げたところでも、^{あんしん}安心して過ごせるようにしていきます。
- ^{しょうがいふくし}障害福祉サービス事業所などが、^{さいがい}災害や^{かんせんしょう}感染症のときでも、^{しょうがい}障害のある人が^{あんしん}安心してサービスが受けられるための計画をつくることを^{ささ}支えていきます。
- ^{みみ}耳が聞こえない人や^き聞きづらい人、^{ことば}ことばが出しにくい人などがつかう110番の^{ばん}番の^{つか}使い方を^{かた}広めていきます。



だい じ ひろしまけんしょうがいしゃ
第5次広島県障害者プラン
〔わかりやすい版〕

ひろしまけん けんこうふくしきよく しょうがいしゃしえんか
広島県 健康福祉局 障害者支援課

〒730-8511 ひろしまけんひろしましなかくもとまち
広島県広島市中区基町10-52

TEL：082-513-3161／FAX：082-223-3611

E-mail：fusyoushien@pref.hiroshima.lg.jp

ホームページアドレス：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>

へんしゅう いんさつ しゃかいふくしほうじん せいけいかい リブウェル せいけい
編集・印刷：社会福祉法人 聖恵会 リブウェル聖恵

